

## 企画展「三蔵法師が伝えたもの 奈良・薬師寺の名品と鳥取・但馬のほとけさま」の開催結果について

令和4年12月9日

展覧会名	企画展「三蔵法師が伝えたもの 奈良・薬師寺の名品と鳥取・但馬のほとけさま」
会 期	令和4年4月9日（土）～5月15日（日）〔35日間〕
会 場	鳥取県立博物館 第1・第2・第3特別展示室
主 催	鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送株式会社

## 1 事業概要

7世紀、唐の時代の三蔵法師(さんぞうほうし) (玄奘三蔵(げんじょうさんぞう)、602～664) と三蔵法師を開祖とする法相宗(ほっそうしゅう)の大本山(だいほんざん)薬師寺(奈良市西ノ京)の歴史と文化を、同寺所蔵の名品をもとに紹介した。さらに、本展では、三蔵法師が伝えた仏教や仏典の鳥取県下や但馬地方(兵庫県北部)におけるひろがりを示す、奈良～平安時代の観音菩薩を中心とした仏像、釈迦十六善神像といった仏画の名品を展示した。あわせて奈良時代、法相宗・興福寺の高僧・玄奘(げんぴん)(734～818)が伯耆(鳥取県西部)に隠棲(いんせい)した際、開創されたとされる阿弥陀寺(あみだじ)(のち豊寧寺(ほうねいじ)(南部町賀祥))関係資料も紹介した。

## 2 開催結果

## (1) 企画展入場者数 4,705人(目標6,000人)

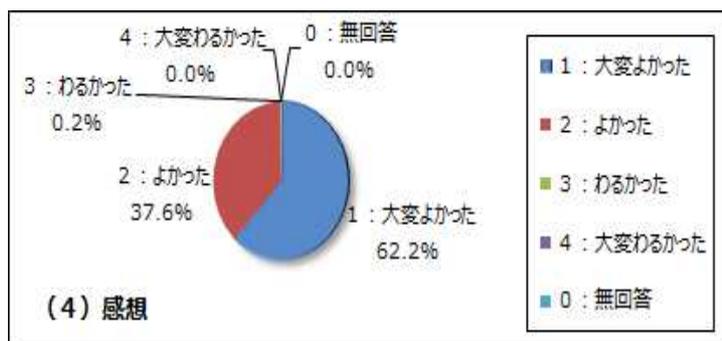
- 開催当初の出足が悪く、来場者数に関しては目標に達することはできなかったが、来館者アンケートでは、大変よかった・よかったと回答された方が99.8%(大変よかった62.2%・よかった37.6%)であり、来館者の満足度は高かった【(3)主な反響を参照】。
- 50周年記念展であったので、単純な薬師寺の名品展とせず、これまでの博物館の調査研究の歴史を反映する心がけ、鳥取県の仏教美術の名品も多数展示した。また、仏像の展示にとくに力を入れ、仏像の世界に浸れる雰囲気を作った。
- 週末に「お坊さんがやって来た」と題し、薬師寺僧による法話を企画したが大変好評であった。
- 本展の広報は県内を中心に行ったが、関西の仏像ファン向けに広報すればゴールデンウィークの入場者がもっと多かったと考えられ、今後の課題である。

## (2) 関連行事参加者数

- ・4/9 開幕法要関係者、記念講演会(加藤朝胤(薬師寺管主)「玄奘三蔵 不東の御精神」)92名
- ・4/17 学芸員講座「鳥取県内の釈迦十六善神像と大般若経について」63名
- ・4/23 薬師寺 まほろば塾 鳥取塾「玄奘三蔵の道」(【講演】夢枕獏氏(作家)、【対談】夢枕獏氏、加藤朝胤師(薬師寺管主・まほろば塾塾長)、聞き手：大谷徹契師(薬師寺執事長))177名
- ・4/9～12、22～24、28～30、5/13～15《トーク》お坊さんがやって来た のべ1285名
- ・5/1、3、4、5 ギャラリートーク104名
- ・4/28、29、30、5/14、15 はじめてのお写経講座9名

## (3) 主な反響(入場者アンケートから回答者432人)

- 「鳥取でなぜ三蔵？」と最初は思ったが、展示をみてその意図がよく伝わった。力が入った展示に感動。東京から来た甲斐があった。



- 県内の調査に基づいている点が貴重。
- 地域の文化財と奈良・薬師寺の文化財を比較できて面白かった。
- 秘仏を含め貴重な仏像を見ることが出来た。360°見れたのも良かった。
- 作品数の多さ。順路・解説わかりやすかった。
- 仏像がたくさん展示してあった部屋が迫力満点で大満足でした。普段ならみられない裏側や横からもみることができ興味深かったです。
- 記念講演会、薬師寺まほろば塾、トークお坊さんがやってきた、写経講座など関連イベントが充実していて良かったと思います。できる限り参加させていただきました。また、仏像の展示コーナーは圧巻でした。国宝などの仏像が間近に観られ、とても貴重な体験をさせていただきました。図録へのサインも良かったです。

### ▼展覧会の風景



## 企画展「ティラノサウルス展 ～T. rex 驚異の肉食恐竜～」の開催結果について

展覧会名	企画展「ティラノサウルス展 ～T. rex 驚異の肉食恐竜～」
会 期	令和4年6月18日（土）～8月28日（日）〔休館日4日を含む72日間〕
会 場	鳥取県立博物館 2階 第1・第2・第3特別展示室
主 催	ティラノ展実行委員会（鳥取県立博物館・日本海テレビジョン放送株式会社）・読売新聞社

### 1 事業概要

白亜紀末の北アメリカに生息していた大型肉食恐竜「ティラノサウルス・レックス」の姿かたちや身体能力、生活様式、進化のプロセスなどの最新の研究成果を、全身骨格（複製）やロボット、インタラクティブ映像などとともに紹介・解説した。

### 2 開催結果

#### (1) 企画展入場者数 64,139人（目標 40,000人） ※入場者数新記録

人気のあるティラノサウルスをテーマとしたこと、加えてSNSによる広報効果もあり、当館企画展の入場者数の新記録を達成した。本企画展の成果と課題としては以下の点があげられる。

- 来館者アンケートでは、大変よかった・よかったと回答された方が100.0%（大変よかった77.8%・よかった22.2%）であり、来館者の満足度は極めて高かった【（3）主な反響を参照】。
- 50周年記念展かつ夏季開催ということで、ニーズが高く自然科学教育にも適した「恐竜」をテーマに設定し、中でも特に人気のある「ティラノサウルス」に焦点を絞り、重点的に本展への予算配分を行った結果、上記のとおり高い満足度を得られ、入場者数の新記録達成に繋がった。
- 「クイズラリー」と「ひとこと補助パネル」を自作設置したところ大変好評であり、自然科学教育として大きな成果があった【（3）主な反響を参照】。
- 巨大精密グラフィック、恐竜ロボット、インタラクティブな3DCG映像、自動撮影装置、恐竜グッズ販売など、映像メディアや体験型のしぐみを多く取り入れたところ大人気であった。
- ティラノサウルスの着ぐるみを使用したイベント【（2）関連行事参加者数を参照】を開催した。このイベントがSNS（Twitter、Facebookなど）により情報拡散され、また当館がTwitterへ投稿したものは200万件以上の閲覧があり、入場者数の増加に繋がった。
- 学校や園の行事で来館していただけるよう、例年に比べ約1ヶ月前倒した夏休み前の6月18日を開幕日とした。また、夏休み期間中には放課後児童クラブに案内文書をお送りした。その結果、57の学校等の利用があり、学校等の博物館利用を促進することができた。
- 駐車場不足やバリアフリー化の不十分、展示室内の通信環境の脆弱さ、来館者が特に多い土日祝のシフト制による人員不足など、公共施設として当館が潜在的に抱えていた課題が浮き彫りとなった。

#### (2) 関連行事参加者数

- ・連動イベント「ティラノサウルス展を見るティラノサウルス展」（6/20）計76人
- ・連動イベント「ティラノサウルスコンテスト」＋「T-REX×鳥取城跡・仁風閣フォトスタンプラリー」（7/16）計220人  
※両イベント共に、主催：ティラノ展実行委員会、鳥取市、鳥取市教育委員会、鳥取県文化財団、仁風閣、協力：日本ティラノサウルス保存会
- ・自然講座「鳥取養護学校高等部のみんなと化石のでき方を学ぼう！～化石入り岩石づくり体験～」（7/17）15人（主催：当館、鳥取県立鳥取養護学校高等部）
- ・以下の講座は新型コロナウイルス対策業務を鑑み中止とした：自然講座「化石クリーニング教室」（8/6予定）、自然講座「化石レプリカをつくろう！[ティラノサウルスの歯! ]」（8/14予定）、自然講座「ふわふわ！キラキラ！鳥の羽を楽しもう」（8/20予定）。

(3) 主な反響（入場者アンケートから 回答者 109 人）

- 想定していたよりもはるかに巨大な骨格標本が見られたので感動した。期待を裏切らないどころか、はるかに上回る内容で楽しかった。ぜひまた来たい。
- 骨格標本がたくさん見られて満足しました。実際のサイズ感を確認するとすごくかっこよくて怖くて良かったです。
- 写真 OK だったので、記録できてうれしかった。クイズラリーもあり、見る所がどこかわかり楽しかった。
- 解説が分かりやすく、また大き目の字で読みやすかったです。展示解説を設けて下さったのも嬉しいです。標本の他、ロボットあり、photo スポットあり、ミュージアムショップありなどいろいろと楽しめました。
- 子供料金が無料はすごくありがたかったです。3度連れて来ました。ちょうどジュラシックワールドの映画公開もあり、子供の関心度も高く、イイタイミングでした。ぜひまたお願いします。
- 今回も楽しく興味深い企画展をありがとうございました。近年、関連イベントの方も充実していて楽しませていただいています。気軽に声をかけて下さるスタッフの方もおられて嬉しいです。また、学芸員さんの中にも、いつでも声をかけて下さいと言って下さる方もおられ、堅苦しい県博のイメージが変わったように感じています。今後もよろしくお願いいたします。
- この地域で恐竜展は珍しいため。夏休みというのも良かった。
- 説明の要約（子供向け）が大人にもよかったです。※「ひとこと補助パネル」のこと
- 6回きました。5歳のこどもが化石をみたり、動画をみたり、色々あきずにずっと楽しんでました。

▼展覧会の風景



令和4年度 鳥取県立博物館開館50周年記念企画展  
「すべてみせます！収蔵庫の資料たち」開催要項

■趣 旨：

鳥取県立博物館は、県内唯一の自然・人文・美術の総合博物館として昭和47(1972)年10月に開館した。前身は昭和24年に鳥取城跡内の「仁風閣」を建物に発足した鳥取県立科学館であり、昭和29年には生物・地学・考古・民俗を扱う鳥取県立科学博物館となった。そして昭和47年に、鳥取県立図書館が保管していた鳥取藩池田家資料を受け入れ、新たに美術部門を加えて、現在の場所に総合博物館として新設された。開館当初ですでに約5万点の資料を収蔵していたが、50年間の活動により、現在その数は約20万点となっている。

今回の展覧会では、半世紀にわたり収集・保管されてきた県民一人一人の財産である資料を、可能な限りすべて展示し、博物館の根幹にある資料収集と調査研究の50年を紹介する。

■会 期：令和4年10月29日(土)～12月11日(日) 月曜日休館 【38日間】  
午前9時～午後5時

■会 場：鳥取県立博物館 第1・第2・第3特別展示室

■入場料：一般500円(前売・団体・70歳以上の方300円)  
※大学生以下の方、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者、  
学校教育活動での引率者は無料

■主 催：50年展実行委員会(鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送株式会社)

■協 賛：日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、  
三和商事株式会社、株式会社鳥取県情報センター

■展示構成：

- 1) 鳥取県立博物館のプロフィール・鳥取県立博物館が誕生するまで
- 2) すべてみせます！鳥取県立博物館の収蔵資料  
分野ごとに、前史を踏まえた50年間の資料収集の歴史と目的、特徴、および成果を紹介  
第1特別展示室：人文(考古、古代・中世、近世、近現代、民俗)  
第2特別展示室：自然(地学、動物、昆虫、植物)、資料管理(データベース)  
第3特別展示室：美術

「安岡信義 1888-1933——近代洋画の黎明期を生きた画家」展

開催要項

1 趣旨

本展覧会は、歿後90年を迎える鳥取市出身の洋画家・安岡信義（1888-1933年）に焦点をあて、その画業の全容を初めて網羅的に紹介する回顧展として開催するものである。

総じて9年間に及ぶ東京滞在期に東京美術学校図画師範科、次いで本郷洋画研究所等にて油彩画を学んだ安岡は、郷里にて画家としての円熟期を迎えたのち、師範学校の図画教師として赴任した富山県に活動の基盤を移して後進の育成や美術文化の振興に尽くした。

本展覧会では、これまで未公開であった作品ならびに関連資料群の調査を通じて、この知られざる画家の全貌に迫ると同時に、安岡が学んだ東京美術学校で教鞭を執っていた黒田清輝や久米桂一郎、岡田三郎助ら日本近代洋画を牽引する画家の作品を併せて紹介することで、同時代の諸相の中で安岡の画業を適切に位置づける。

また、富山での教え子らの作品を介して、一地方画壇が形成される端緒を築いた安岡が美術教育者として果たした役割についても明らかにする。

2 会期等

令和5年2月11日(土・祝)から3月21日(火・祝)まで、34日間  
会期中の3月20日(月)を除く月曜日休館

3 会場

鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

4 主催

安岡展実行委員会（鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送株式会社）

5 入場料

一般700円、大学生・70歳以上の方・前売・20名以上の団体500円

※高校生以下の方、障がいのある方・難病患者の方・要介護者及びその介護者、学校教育活動での引率者は無料

6 会期中の関連事業

特別講演会や展示解説等

7 問合せ先（担当）

鳥取県立博物館美術振興課 友岡真秀

住 所 〒680-0011 鳥取市東町2丁目124

電 話 0857-26-8045

ファクシミリ 0857-26-8041

電子メール tomookam@pref.tottori.lg.jp

## 令和4年度 常設展の展示概要

### 自然展示室

#### ■「自然の窓」コーナー

令和4年2月8日～6月26日	それ、サギじゃない!?	一澤主幹学芸員
令和4年6月28日～10月23日	鳥取県の絶滅のおそれのある野生植物	清末学芸員

#### ■「身近な植物」コーナー

令和4年4月15日～8月10日	浮き袋をつけた海藻 — ホンダワラの仲間 —	清末学芸員
令和4年8月11日～（展示中）	生誕160年記念 牧野富太郎採集標本の里帰り展示とゆかりの植物たち	

### 歴史・民俗展示室

#### ■「歴史の窓」

令和4年4月19日～6月19日	砂丘に埋没した古墳—岩美町浦富5号墳	小山専門員兼主任学芸員
令和4年6月21日～8月28日	三徳山ゆかりの県指定文化財—姫宮神社の狛犬と観照院の蔵王権現像—	福代主幹学芸員
令和4年8月30日～11月6日	新発見！鳥取藩主の分家・西館の家臣の古文書	大嶋主任学芸員
令和4年11月8日～12月18日	戦国時代の土地の売り買い—契約書に見る中世人—	山本学芸員

### 1階美術展示室

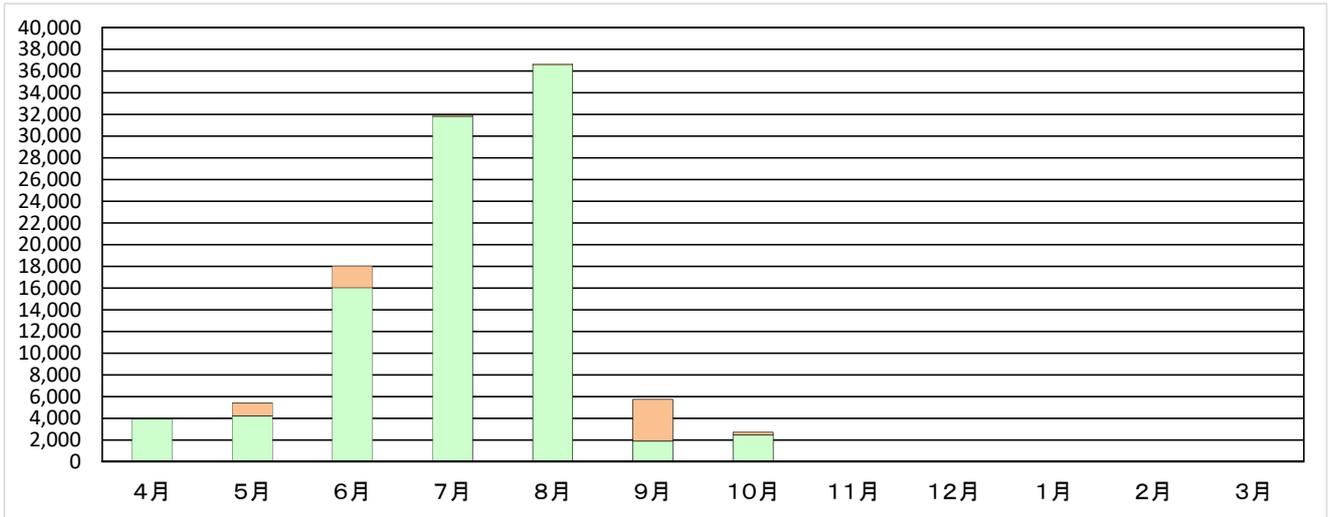
※臨時収蔵庫として利用するために当面休室

### 2階近代美術展示室(第3特別展示室)

令和5年2月24日～3月21日	テーマ シリーズ:美術をめぐる場を作るIV 「感じる・鈴木昭男と宮北裕美のありかた」	佐藤専門員兼学芸員
-----------------	--	-----------

# 令和4年度 博物館入館者の状況

<令和4年10月31日現在>



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	参考 R3同期	
来館者	常設展 (A)	1,318	1,587	4,299	7,197	8,128	1,866	2,024					26,419	22,310	
	企画展 (B)	2,182	2,523	11,635	24,293	28,211	0	394					69,238	19,053	
	普及活動 (館内) (C)	406	87	69	307	192	0	8					1,069	513	
	研究相談 (D)	8	7	25	12	12	17	21					102	100	
	小計	3,914	4,204	16,028	31,809	36,543	1,883	2,447					96,828	41,976	
	県展・ジュニア県展 (E)	-	-	-	-	-	3,703	-						3,703	3,956
	貸館利用者数 (F)	0	1,217	1,999	101	97	150	265						3,829	22,348
	ミューゼ利用者数 (I)	1,367	1,316	1,095	1,477	2,062	881	674						8,872	7,439
	総来館者数	5,281	6,737	19,122	33,387	38,702	6,617	3,386						113,232	75,719
普及活動 (館外計)	58	364	470	142	26	60	309						1,429	1,121	
博物館利用者総計	5,339	7,101	19,592	33,529	38,728	6,677	3,695						114,661	76,840	

## <企画展別入館者数>

令和3年度	
企画展名	入館者数(人)
受贈記念 垣田堅二郎コレクション展	1,978
QooDZILLA!!クジラとイルカの世界	13,401
とっつりの乱世 -因幡・伯耆からみた戦国時代-	5,005
コレクション・マリアージュ SOMPO美術館×鳥取県立博物館 東郷青児と前田寛治、ふたつの道	3,683
小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌(レクイエム)	2,607
計	26,674

## <企画展別入館者数>

令和4年度	
企画展名	入館者数(人)
三蔵法師が伝えたもの 奈良・薬師寺の名品と鳥取・但馬のほとけさま	4,705
ティラノサウルス展 ~T.rex 驚異の肉食恐竜~	64,139
すべてみせます! 収蔵庫の資料たち	(開催中)
安岡信義 1888-1933—近代洋画の黎明期を生きた画家	(2月開幕)
計	68,844

## <主な貸館による入館者数>

令和3年度	
企画展名	入館者数(人)
第60回麒麟のまち鳥取市美術展	2,172
木梨憲武展 Timing—瞬間の光—	19,184
第65回鳥取県美術展覧会	3,956
令和3年度シニア作品展	484
第19回鳥取県ジュニア美術展覧会	2,355
鳥取県文化功労賞受賞記念巡回展	611
あいサポート・アートとっつり展 東部巡回展	808
第43回鳥取県書道連合会展	408
計	29,978

## <主な貸館による入館者数>

令和4年度	
企画展名	入館者数(人)
第61回麒麟のまち鳥取市美術展	2,080
伯耆しあわせの郷 織物教室30周年展	1,040
第66回鳥取県美術展覧会	3,703
計	6,823

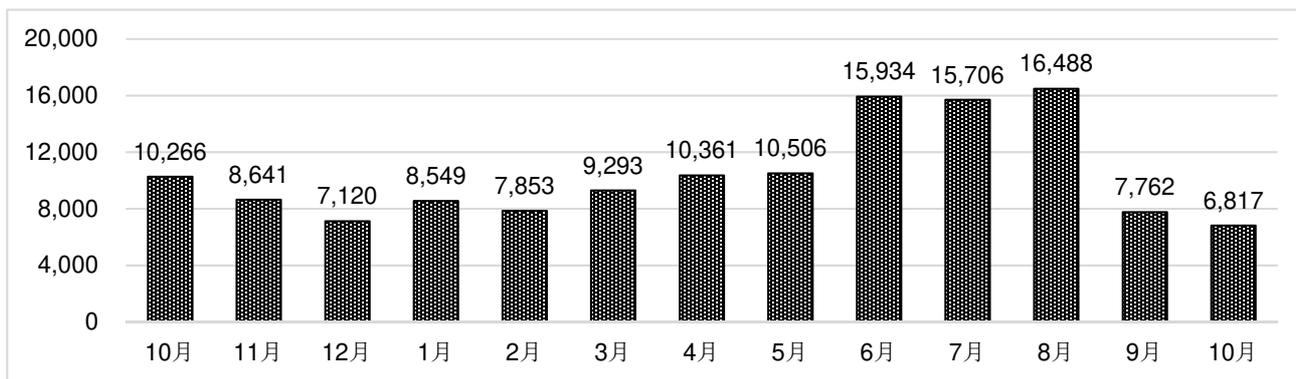
# 鳥取県立博物館におけるインターネット関連広報について

## 1. とりネット（ホームページ）による広報

企画展の情報を適宜更新する他、常設展示の内容などをまとめている。収蔵資料データベースは、令和3年3月1日から、県立4館合同のデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」にデータを移管して公開している。

《鳥取県立博物館ホームページのアクセス数の推移》 R3年10月～R4年10月

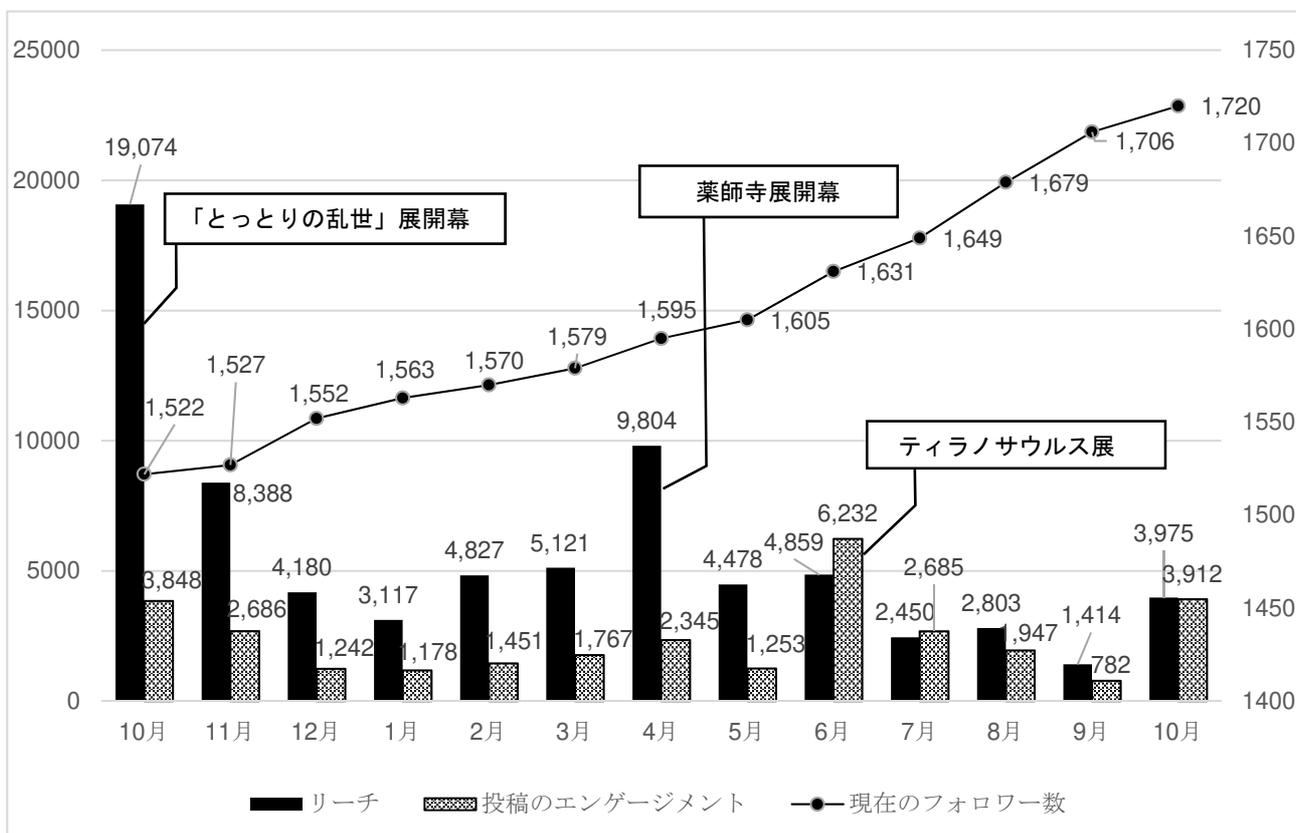
※博物館トップページのアクセス数のみ。Facebook から直接、企画展等のリンクに飛んだ場合はカウントされていない。



## 2. SNSによる広報

### (1) Facebook

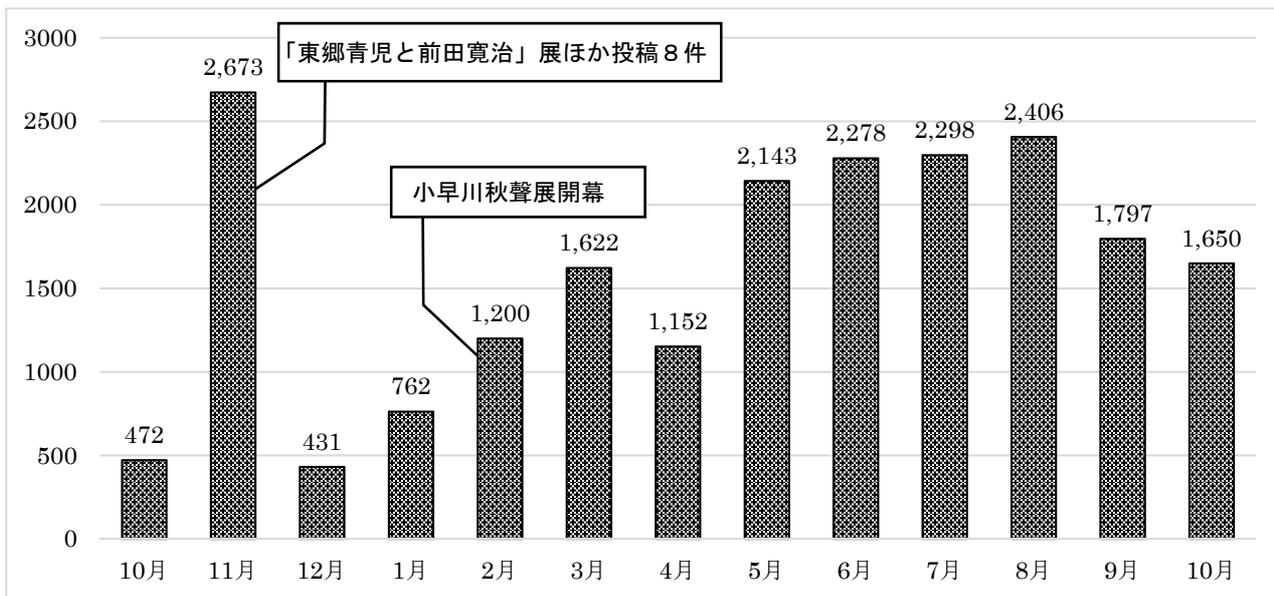
《アクセス数の推移》



(2) Instagram

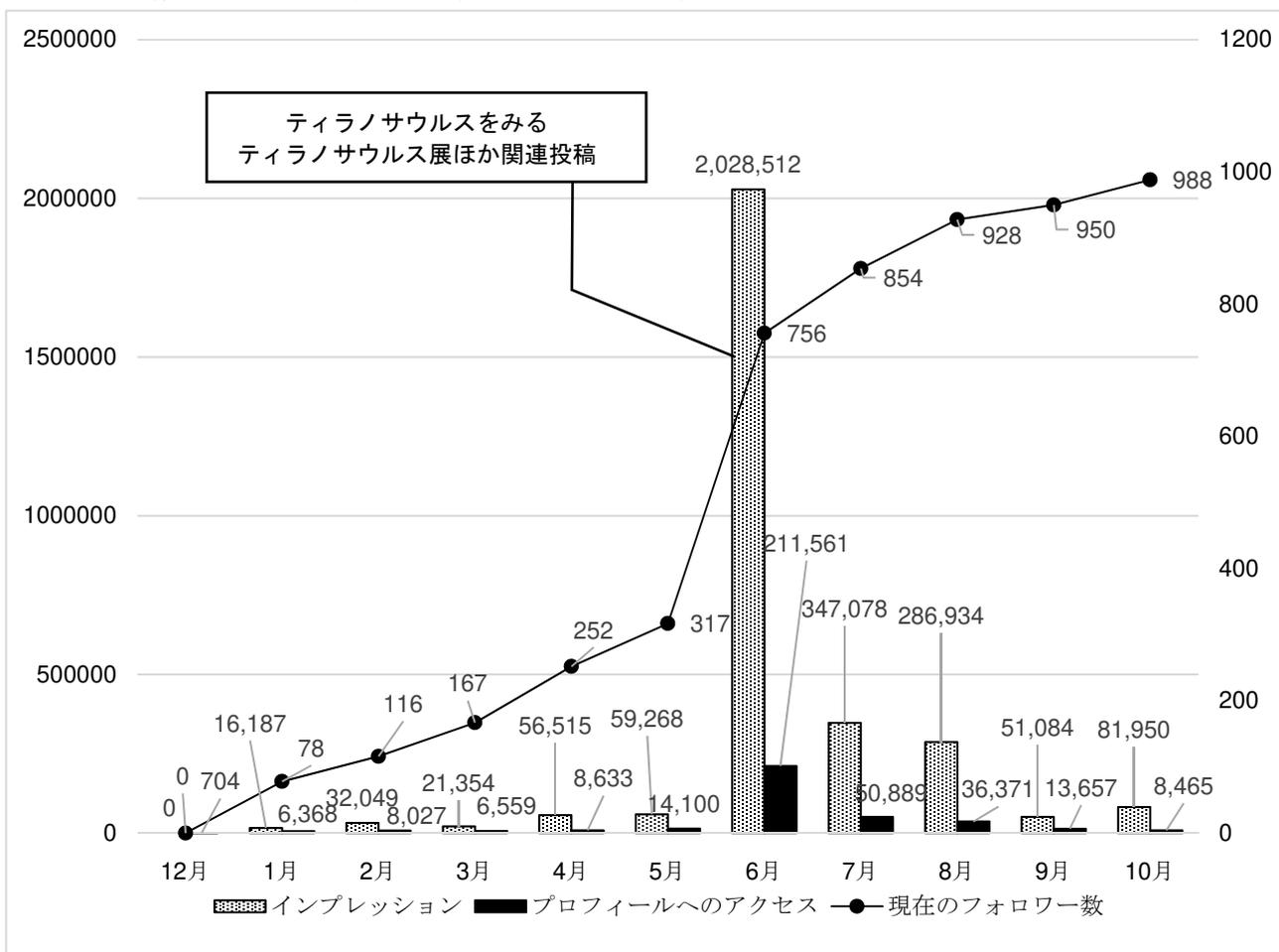
フォロワー数 939 (令和4年11月22日時点)

《美術部門学芸チーム Instagram ページのアクセス数の推移》



(3) Twitter

フォロワー数 1013 (令和4年11月22日時点)



## 平成31(令和元)～令和4年度調査研究テーマ(人文)

### 長期目標(部門別テーマ)

鳥取県の歴史(原始古代～近現代)、民俗に関わる実物資料及び事象の情報を収集・保存し継承する。

### 中期目標(年度テーマ)

#### 考古分野

- ・館蔵品の調査研究  
平成31年度～令和5年度 担当：小山 共同研究者：なし
- ・鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究  
平成31年度～令和5年度 担当：小山 共同研究者：なし  
成果発表形態：展示

#### 歴史分野

- ・鳥取県内の釈迦十六善神像及び大般若経の調査  
令和3年度～令和4年度 担当：大嶋・福代  
成果発表形態：展示、報告書

#### 民俗分野

- ・鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究  
平成24年度～令和4年度 担当：福代 共同研究者：藤木竜也(千葉工業大学准教授)  
成果発表形態：研究報告、展示

#### 総合分野

- ・文化財の状況調査  
令和2年度 三朝町中津  
令和3年度 若桜町諸鹿  
令和4年度 県内農山村を想定

## 令和4年度以降の調査研究取組内容（美術）

### 令和4年度以降の調査研究取組内容

#### 近世美術分野

- ・「鳥取県にゆかりのある近世以前の作家の展開に関する調査研究」  
随時 担当：山田 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会
- ・「杉浦（土方）家伝来資料に関する調査研究および目録化」  
令和7年度まで 担当：山田 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会

#### 近代美術分野

- ・「鳥取県ゆかりの洋画家における西洋美術受容の実践に関する調査研究」  
随時 担当：友岡 共同研究者：なし 成果発表形態：論文、セミナー、展覧会
- ・「鳥取における美術・文芸の同人に関する研究：収蔵資料を含む現存資料の調査および目録化」  
令和6年度まで 担当：友岡 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会、口頭発表
- ・「鳥取県にゆかりのある近代日本画家に関する調査研究」  
随時 担当：山田 共同研究者：未定 成果発表形態：論文、展覧会

#### 現代美術分野

- ・「福嶋敬恭の作品の展開に関する調査研究」  
令和6年度まで 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：論文、展覧会
- ・「鳥取県ゆかりの現代美術作家に関する調査研究」  
随時 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：展覧会
- ・「現代美術作品による制度批評および社会に介入する芸術についての調査研究」  
随時 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：論文、企画展
- ・「地域型アートプロジェクトにおける批評とキュレーションに関する調査研究」  
随時 担当：赤井 共同研究者：小泉元宏(立教大学) 成果発表形態：論文、展覧会、口頭発表

#### 写真分野

- ・「鳥取県にゆかりのある写真家に関する継続的調査研究」  
随時 担当：赤井 共同研究者：なし 成果発表形態：セミナー、論文、展覧会

#### 工芸・デザイン分野

- ・「鳥取県にゆかりのある現代の工芸家に関する継続的調査研究」  
随時 担当：三浦 共同研究者：なし 成果発表形態：企画展、セミナー、論文
- ・「手仕事の技術を生かした現代・国内外のデザインに関する調査研究」  
随時 担当：三浦 共同研究者：なし 成果発表形態：エッセイ、セミナー、論文
- ・「山陰の絁織りに関する技法および様式に関する調査研究」  
令和7年度まで 担当：三浦 共同研究者：未定 成果発表形態：セミナー、論文、常設展示
- ・「鳥取県出身の工芸家・岡村吉右衛門のスケッチおよびノート類に関する調査研究」  
令和7年度まで 担当：三浦 共同研究者：なし 成果発表形態：セミナー、論文、常設展示

#### 美術館教育分野

- ・「『来館者の学び』に関する理論と方法に関する調査研究」  
随時 担当：佐藤 共同研究者：デジタル鑑賞教育研究会  
成果発表形態：展示、ワークショップ、口頭発表
- ・「地域に根ざしたアートコミュニケーション事業の在り方に関する調査研究」  
随時 担当：山本 共同研究者：なし 成果発表形態：ワークショップ、広報物の発行
- ・「美術館の教育普及機能の有効化・充実に向けた、館内外における実践的な調査研究」  
随時 担当：外村 共同研究者：未定  
成果発表形態：教育普及事業、アウトリーチプログラム、教員研修、ワークショップ等

## 令和4年度TMN美術館等連携にかかるとる委員会・研修会・事業等の開催状況

	内 容	期 日 (令和4年度)	備 考
1	TMN美術館等協力連携推進委員会第1回専門部会	4月14日	参加者:7名
2	TMN美術館等協力連携推進委員会第2回専門部会	5月20日	参加者:7名
3	TMN美術館等協力連携推進委員会第1回委員会	6月	書面開催
4	令和4年度共同企画展に向けての担当者打合せ(メール、電話等)	8~10月随時	参加者:3館(倉吉、北栄、県博)
5	TMN美術館等協力連携推進委員会第3回専門部会	9月27日	参加者:7名
6	TMN美術館等協力連携推進委員会第2回委員会	10月31日	参加者:11名
7	令和4年度共同企画展「吉田たすくとゆかりの作家展」	11月3日~12月4日	会場:北栄みらい伝承館 来場者:844名
8	外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会 1テーマ(現在調整中)	令和5年3月 までに開催	参加者:( )名
9	外部講師による加盟館学芸員資質向上研修会 2テーマ(現在調整中)	令和5年3月 までに開催	参加者:( )名
10	TMN美術館等協力連携推進委員会第4回専門部会	令和5年3月 までに開催	参加者:( )名

令和4年9月30日(金)午後1時30分～午後4時 30 分

鳥取県立博物館 講堂(鳥取市東町2丁目124)

## 令和4年度 鳥取県ミュージアム・ネットワーク研修会

### 1 あいさつ

### 2 諸連絡

(1)加盟館の状況について

(2)災害発生時における博物館資料の救援活動実施要綱について

### 3 出席館から

### 4 研修

テーマ)文化をつなぎ、わかちあう ―文化観光推進法と博物館法改正―

講師:文化庁参事官(文化観光担当)付 博物館支援調査官 中尾智行 さん



専門は日本考古学と博物館学。河内長野市教育委員会、大阪府文化財センター、鳥取県教育文化財団、神戸女子大学非常勤講師、大阪府立弥生文化博物館総括学芸員を経て 2020 年から現職。「モノとコト」の中心になる「ヒト」を強く意識しながら仕事に取り組んでいる。

(メモ)

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

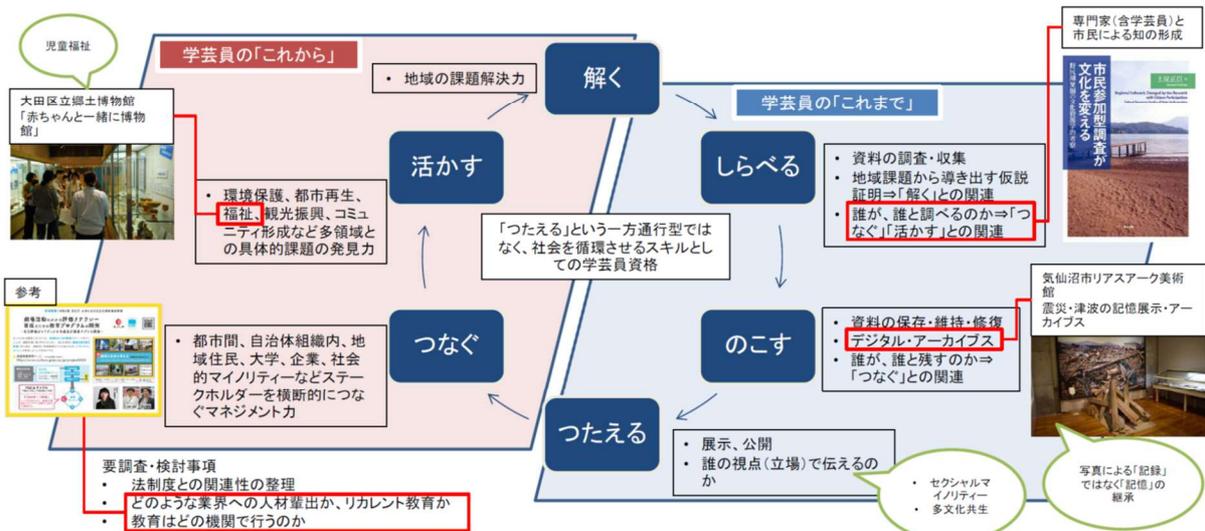
### 5 その他

●博物館法改正に関して

新たな博物館法制度が目指す「博物館の機能強化」のための好循環



学芸員に求められる役割の「これまで」「これから」

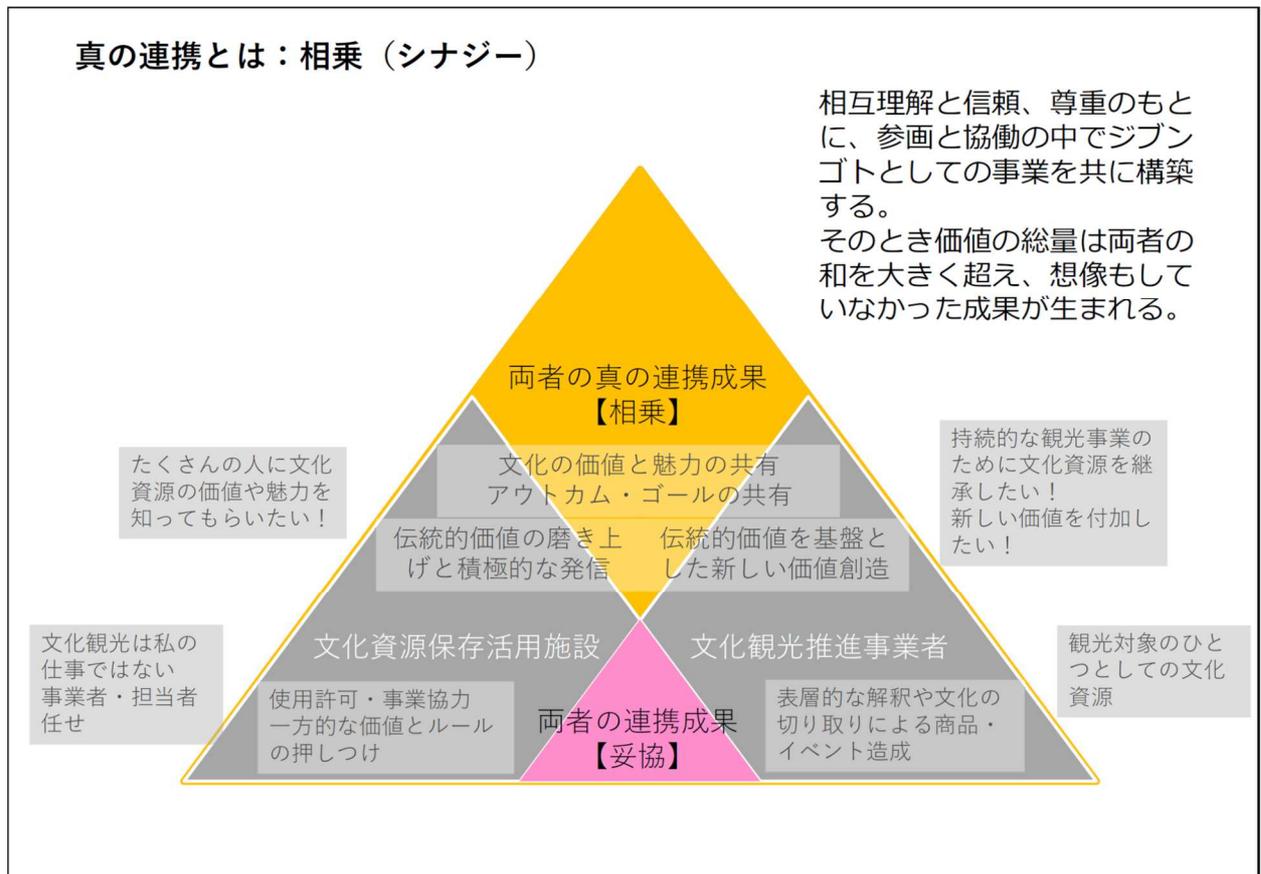


城西大学現代政策学部准教授 土屋正臣氏作成のスライドより

## ●博物館関連支援予算について

博物館関連支援予算(令和4年度予算案)一覧		文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan
<b>1. 博物館機能強化推進事業</b>	424百万円	
① Innovate MUSEUM 事業	319百万円	
<p>これからの博物館が新たに求められる社会的・地域的な課題（人口減少、社会包摂等）への対応に関する先進的な取組みとして（1）地域課題対応事業、（2）ネットワークの形成による広域等課題対応事業を支援し、その内製化と横展開を目指す。</p>		
② 博物館の経営改善・機能強化の促進事業	105百万円	
<p>博物館法の改正による制度見直しを見据えて、国として実施する必要のある（1）新たな課題への対応のための組織改革の取組の促進、（2）新制度の実行のための体制整備 等について実施。</p>		
<b>2. 文化拠点機能強化・文化観光推進プラン</b>	2,164百万円	
①文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業	2,070百万円	
<p>文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環を生み出すことを目的とする「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」に基づく拠点計画及び地域計画の実施等のための事業について支援。</p>		
②博物館等の国際交流の促進事業	52百万円	
<p>海外博物館等との連携による双方の学芸員等による共同調査・研究やデジタルアーカイブやレプリカ等のコンテンツを活用した事業を展開し、事業の効果検証を通じて、持続的な国際モデルを構築。</p>		
<b>3. 美術品DXによる管理適正化・市場活性化推進事業</b>	44百万円	
<p>我が国が誇る有力な美術品を「ナショナル・コレクション」として国内外に発信すべく、美術館・博物館における管理の徹底及び民間に所在する美術品の捕捉をDXを通して実現。</p>		
<b>3. 地域ゆかりの文化資産展示支援</b>	1,440百万円の内数	
<p>文化庁や国立博物館等が所蔵する地域ゆかりの文化財の地方博物館での展覧会を支援（日本博予算の一部を活用）。 ※国際観光旅客税予算を活用</p>		
<b>4. 国民文化祭を契機とした三の丸尚蔵館の地方展開</b>	8百万円	
<p>「国民文化祭」開催地の博物館・美術館等において、三の丸尚蔵館収蔵品を中心とした国等有する貴重な文化財を紹介する展覧会を開催するための費用（作品輸送、保険、リーフレット印刷）等を支援。</p>		
<b>5. 被災ミュージアム再興事業</b>	245百万円	
<p>東日本大震災で被災した博物館資料の修理への支援</p>		
<b>6. 国立アイヌ民族博物館の運営等</b>	1,610百万円	
<p>令和2年7月に開館した国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）の管理運営費を計上。年間来場者数100万人の達成を目標。アイヌ施策推進法に基づくアイヌ文化振興事業への支援。</p>		
<b>7. 国立文化施設の機能強化・整備</b>	20,288百万円の内数	
独立行政法人国立科学博物館運営費交付金	2,546百万円	
独立行政法人国立美術館運営費交付金	8,423百万円	
独立行政法人国立美術館施設整備費	400百万円	
独立行政法人国立文化財機構運営費交付金	8,918百万円の内数	

## ●文化観光推進法の目指す相乗効果



# 令和4年度 資料収集等の状況について

令和4年11月時点

## 1 博物館資料保有状況

部 門	R3年度末 保有点数	令和4年度中増加点数					R4年度中 減少点数	R4年11月 保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地 学	8,143							8,143
動 物	36,418							36,418
植 物	55,723							55,723
歴 史	55,342	1	25					55,368
近現代	8,296		1					8,297
民 俗	4,131							4,131
考 古	8,292							8,292
美 術	10,393	171						10,564
合 計	186,738	172	26	0	0	0	0	186,936

## 2 購入(製作)資料

部 門	資 料 名
地 学	なし
動 物	なし
植 物	なし
歴 史	色絵磁器1点
近現代	なし
民 俗	なし
美 術	島田元旦《蓬莱山之図》1点、片山楊谷《猛虎図》他4点、根本幽峨《予譲裂衣図》1点、根本雪峨《高士松竹梅図》1点、小早川秋聲《追分物語》他4点、前田寛治《田園風景》1点、中山巍《風景》1点、香田勝太《裸婦》1点、辻晋堂《詰込教育を受けた子供》他3点、堀内正和《Exercice 7》1点、依田順子《Untitled #P-3》他3点、野村仁《Tardiology(遅延論)》8点、中ハシクシゲ《夏の終わり》他2点、村岡三郎《直線》他4点、眞島竜男《無題(栄光の彼方に)》37点、山沢栄子《Consuelo Kanega》他4点、やなぎみわ《My Grandmothers MIE》他5点、牛腸茂雄《日々》他84点、ウォーホル《キャンベルスープ缶》《ブリロの箱(1)》他6点

## 3 寄贈資料

部 門	資 料 名
地 学	なし
動 物	なし
植 物	なし
歴 史	旧鳥取藩士鈴木家資料24点、槍(銘若狭大掾藤原冬廣)1点
近現代	ドライビット(建設用コンクリート・鋼材びょう打銃)1点
民 俗	なし
美 術	なし

## 4 採集・拾得等資料

なし

## 5 保管換資料

なし

## 6 分類換資料

なし